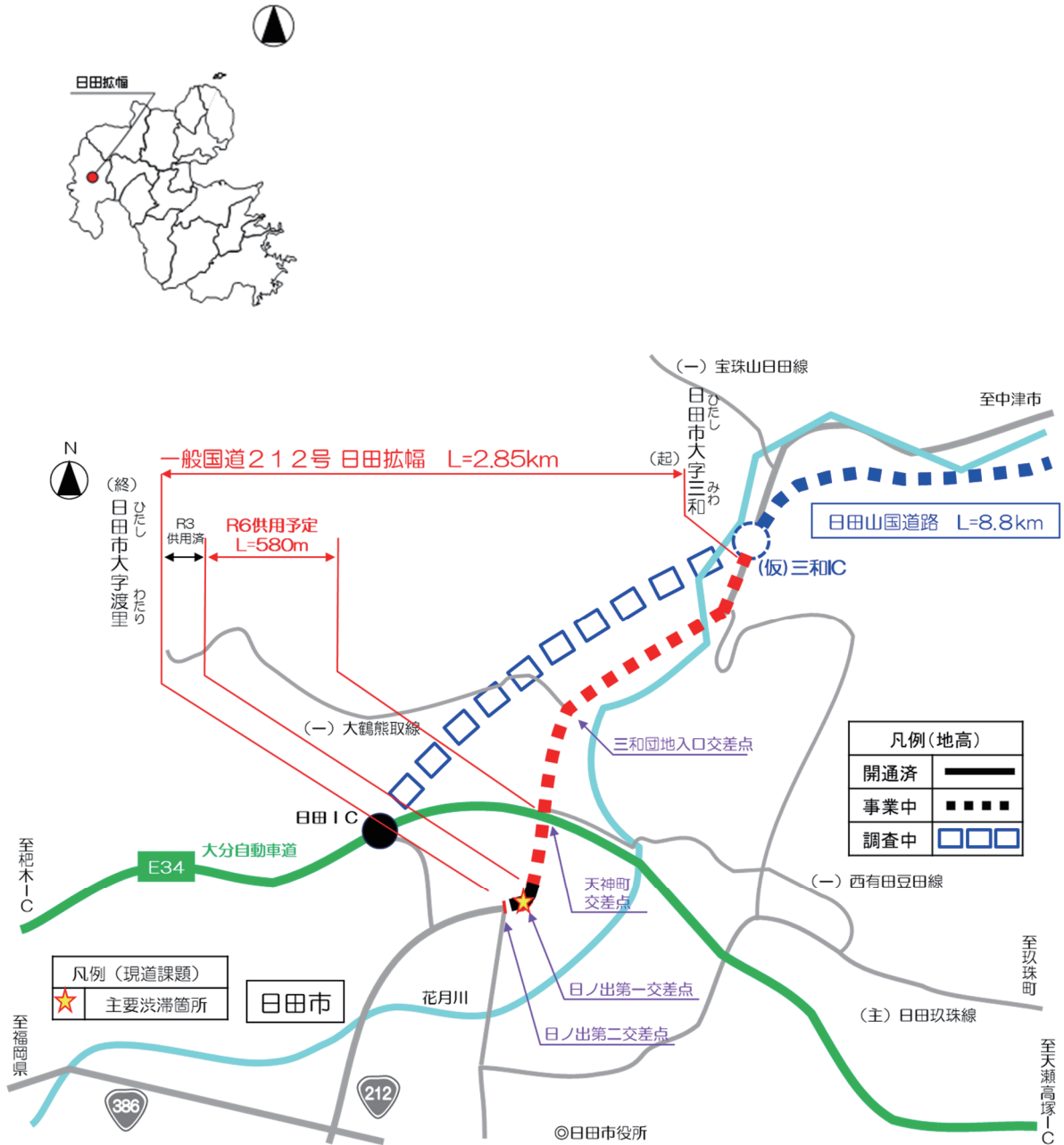


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	地高ICアクセス 一般国道212号 日田拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	大分県
起終点	自：大分県日田市大字三和 至：大分県日田市大字渡里			延長	2.85km
事業概要					
当道路は、地域高規格道路中津日田道路「日田山国道路」（延長8.8km）の（仮）三和ICへのアクセス道路であり、日田市と中津市のアクセス改善による産業、観光等の支援をするとともに、安全で円滑な交通の確保を目的とした現道拡幅事業である。					
H23年度事業化	S39年度都市計画決定 H24年度都市計画変更	H25年度用地着手	H27年度工事着手		
全体事業費	約105億円	事業進捗率	約79%	供用済延長	0.24 km
計画交通量	16,300～21,100台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 4.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 26/121億円 事業費：23/117億円 維持管理費：3.6/3.9億円 更新費：0/0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 118/134億円 走行時間短縮便益：105/119億円 走行経費減少便益：10/13億円 交通事故減少便益：1.8/2.2億円	基準年	令和5年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.0～1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.9～4.8 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1～1.1 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.0～4.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.3～4.4 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
①交通の円滑化やアクセス向上 ・日田市街地と中津市とのアクセス向上が図られる。 ②交通混雑の緩和 ・交通混雑の緩和及び旅行速度の向上が図れる。					
関係する地方公共団体等の意見					
大分県日田市、中津市、熊本県阿蘇市、小国町、南小国町長や町議会議員及び商工会議所で構成する一般国道212号改修促進期成会（会長：日田市市長）による要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約79%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
市街地部の事業のため、補償物件が多いが、地元や関係機関と協力しながら、早期供用に努める。					
施設の構造や工法の変更等					
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進する。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。